

茜町春彦

読書感想文

「表現者ワークショップ
5月号」

目次

近日公開予定	1
第1回配信	2
第2回配信	6
第3回配信	8
後書き	10

近日公開予定

隔月刊誌の表現者クライテリオン5月号を読みました。

その中の特集記事「コロナ疲れの正体」について、読書感想文を書こうと思っています。
ここに追記していくつもりですが、投稿は不定期です。

まずは、告知まで。

第1回配信

(P 0 2 4より引用)・・・多くの言論人、知識人たちがTVが喧伝するイメージに完全に乗かって徹底自粛を訴えたり、自粛警察紛いの言説を展開したりすることが散見されるようになってきました・・・(引用終わり)

言論人といえどもテレビに出たいんだよ。局側の意向に沿った発言をする必要があるんだろう。と云うより、言論人と云う肩書のテレビタレントに過ぎなかったと思えば腹も立たない。

(P 0 2 6より引用)・・・批判を恐れる大学や企業は、常に世間の先回りをして建前を加速させますから、ますます社会全体が強張った「空気」の中に、あるいは「ポリコレ違反者」を取り締まることで「正義づら」をする偽善者たちのルサンチマンの中に吞まれていってしまった・・・(引用終わり)

企業は客商売だから、国民の顔色を窺わざるを得ない。

そこへ行くと、グローバルダイニングは肚が座ってるね。勝訴することを期待します。たとえ敗訴しても、価値のある行動ですよ。

(P 0 2 7より引用)・・・日本の様子がおかしくなったのは、昨年四月頃・・・「あと2週間もすれば日本もニューヨークのようになる」と言い出した人たちがいて、突然、3月の後半に世の中の空気が変わって、緊急事態宣言へ行ってしまった・・・

桜問題で追い詰められていたアベシンゾウが切羽詰まって、全国一斉休校で世間の目を逸らそうとした。これが間違いの始まりだったと思う。その後、目的は倒閣なのか単なる視聴率稼ぎか分からないけど、テレビがコロナの恐怖を煽って非常事態宣言を要求した。さらに国民がそれに乗って、自由を制限してくれ、学校が休みで嬉しい、テレワークは楽しい、などと言い出す始末。情けないを通り越して、滑稽。

(P 0 3 1より引用)・・・大衆社会の問題ですよ。空気で動く大衆社会をどうしたらいいのかと・・・(引用終わり)

学校教育から変えていく必要があると思う。自分の意見を表明する訓練を、子供の頃からしなければならぬのだからね。

教科書を暗記するが勉強だと考えているようでは駄目だね。教科書に書いてないことに対処できない人間が、育つのは当然さ。

新型コロナでは、テレビのワイドショーが新型コロナの教科書になった。自分で考えることのできない人間は、テレビの言う事が答えだと妄信している。

(P 0 3 2より引用)・・・政府は自粛させても補償もしないし、医療崩壊と騒いでいるけれど自粛の話ばかりやってコロナ対応病床は全然増やそうともしない、国民もそんな出鱈目の政府や医療界をほとんど批判しない・・・小池が嘘をついているのに誰も突っ込まないし・・・出鱈目の似非科学を振り回す西浦さんを天才だとか言い出す・・・この馬鹿さ加減が・・・(引用終わり)

国民が選挙で選んだ政治家なんだから、嫌なら落選させれば良いと思う。去年の都知事選挙での小池の得票数見ると、都民は小池が大好きだと云う事が分かる。自粛を命令されるのが、嬉しいのだから。

(P 0 3 6 より引用)・・・大学ではそもそも、10年前くらいから学生と飲みに行くこと自体が「ハラスメントの可能性があるのでやめろ」ということになっている。だから今回のコロナ禍は、言ってみれば、ヤバイ飲み会に行かないいい口実になっている・・・(引用終わり)

教授と飲みに行かないでも良いと思う。が、学生同士では飲みに行くべきだよ。友達出来ないじゃん。学生時代の友達是一生の財産だよ。

きっと今、短大とか専門学校に進学した人は、大変なことになっていると思う。学生はテレビの言う事なんか無視して、自主的に仲間と遊び廻らなきゃ駄目だよ。

(P 0 4 3 より引用)・・・「徹底自粛派」っていうのは相当「悪」なんですよ。めちゃくちゃ悪いやつらです・・・(引用終わり)

他人に対して徹底自粛と言いながら、自分は出歩いている。誰もが自分だけは例外のようだ。徹底自粛を言うなら、自分が家から一步も出でなけりゃいいのに、他人の行動については口を出す。当事者意識のない傍観者なのだろう。

それから菅も小池も、家に籠ってればいい。実務は官僚がやっている。菅や小池はスポークスマンに過ぎないし、テレワークで十分できる。テレビ局も徹底自粛を言うなら、放送を自粛すればいい。テレビなんて不要不急そのものだしね。

(P 0 4 4 より引用)・・・例えば、町内会や新年会、忘年会とかの機会を通して、日本は共同体や社会をつくって秩序を守ってきたのに、そこを破壊すると、日本人は内的な倫理がそもそも弱いのに、外的な倫理保持装置もなくなると、日本人は単なるサルになる・・・(引用終わり)

日本における秩序とは、和の精神だと思う。全会一致とか出る杭は打たれる、とも言える。自分の意見は言わずに周りに合わせて波風立てないのが、和の精神。誰も責任を負う気がない空虚な思想が、和の精神。

新型コロナではテレビの煽りで全国民がコロナ怖い一色に染まった。きっと、テレビが戦争賛成と言ったら国民も賛成と言ひ、テレビが原発賛成と言ったら国民も賛成と言うのだろう。

それで良いのですかねえ。内的な倫理を鍛える必要があると思うけどねえ。

それには学生時代から自分自身で考えて、自分の考えを表明する訓練を積む必要があると思う。

例えば学生には、答えのない問題を解かせたら、どうだろうか。美術の時間にオリジナルの抽象画を書かせるとか、体育の時間に創作ダンスを考えさせて踊らせるとか。そう云う事も良い訓練になると思う。

あー、いまからでも遅くないとも思う。

(つづく)

第2回配信

(P 0 5 0より引用)・・・少し感染者が減ると、変異種の話を持ち出して、コロナの恐怖を再び呼び起こそうとする流れもありますね。変異し続けることは分かっているのに・・・(引用終わり)

そもそも新型コロナは、旧型コロナの変異株に過ぎない。それをマスコミが、突如として現れた未知のウイルスと誤解させた。まあ、鵜呑みにした国民に相当な問題があると思うね。

(P 0 5 7より引用)・・・安倍政権も末期に至って・・・感染症法に基づく措置・・・の再検討が発表されました・・・新型コロナは指定感染症とされ、「2類感染症以上の取り扱い」となっていました・・・この運用を見直すと言っていたのです・・・(引用終わり)

5類相当の扱いになるところを、なぜか菅政権は反故にした。何かの利権が絡んでると思うねえ。

(P 0 5 8より引用)・・・日本の感染状況を海外と比べると、日本はここまで自粛する必要はない。仮に自粛を前提に考えるのなら、できるだけ自粛しなくてもよいように病床を増やしたらいいのに増やさない。仮に自粛させるんだったら、欧米のように補償すればいいのに、それもしない。その結果、国家的被害が甚大に出た。で、こんな愚かなことをいくつも同時にやっている国は世界中で日本だけ。しかもしかも国民がそうした不条理をほとんど批判しない・・・(引用終わり)

日本の学校教育が、このような国民をつくったと思う。

自分の意見は言わせない教育。周りに合わせる教育。出る杭は打たれるから、みんなと同じことをする人間が育つ。その代り、誰も責任を取らずに済む。

そんな教育の結果が、現在の状況を招いたんだろうねえ。

(P 0 6 3より引用)・・・だけどアメリカには民主党と共和党がいて、バイデンさんやクオモ知事がいれば、反対にはトランプさんがいるわけですよ。社会はそのバランスと綱引きで成り立っている。でも日本には、アメリカにおける「トランプ」や「共和党」がほとんどいない。だから、自粛派に対抗する言論は一つの勢力たりえない・・・
(引用終わり)

それでも、選挙へ行こう！ 政権与党への反対票を投じて、過剰な自粛に反対する意思を示さなきゃ駄目だと思う。

(つづく)

第3回配信

(P 0 9 1より引用)・・・ゼロコロナ達成されるまで自粛し続けます・・・これはもう、マスクと国民の共犯関係そのものですよ・・・なんでそんな愚かなバカみたいな空気が出来上がっちゃってるのか・・・その空気の根幹にあるのは「恐怖」なんだと思うんです。戦後直後にアメリカが国民を対象に心理調査を行なって「もし戦争に負けたらどうなると思っていましたか」と聞くとですね、7割から8割の国民が「レイプされたり虐殺されたりもう殺される」と回答していたそうです・・・コロナ自粛も基本的にこれと同じで「コロナに対する恐怖」が圧倒的に巨大化していて「自粛も嫌だけどコロナになったら途轍もなく恐ろしいことになる。だったらコロナを抑え込めるまで自粛するし、それで社会や経済がどうなろうと構わない」という話になっている・・・(引用終わり)

出る杭は打たれる社会の中では、自分の意見など無い方が楽なのだろう。周りと同じ行動をしていれば、責任を追及されることもない。まあ、そういうことかな。

(P 0 9 8より引用)・・・コロナがあまり広がってない地方の人たちも自粛してるんですが、彼らの自粛率は自分の所の感染者数に連動しているんじゃなくて、TVで報道されている感染者数に連動してるっていうのが実証データで明らかになったところ。つまり、TVが煽ってるから人々が自粛してるっていうことがハッキリ示された・・・(引用終わり)

まあ、殆どの国民は自分で考えることをしないのだろう。テレビの言う通りにしていれば、責任を問われることはない。そういう国民ばかりなのだろう。昔からだと思うが。

(P 1 0 1より引用)・・・若者はとにかく外に出るなど。外に出ているヤツがいたら自粛警察がそいつらを徹底的に叩きまくる。TVもそれを加速する・・・(引用終わり)

自肅警察と云うのは、誰かに操られているんじゃないかなあ。そんな気がする。
何かの団体に属している者が、そのリーダーから指示されて、パチンコ店を攻撃したりとか、開けている商店に張り紙をしたんじゃないのかなあ。自分自身の考えで自肅警察を始める事ができるようなタイプには見えないんだよねえ。まあ、推測だけどさ。
(了)

後書き

参考文献：

表現者クライテリオン

2021年5月号 通巻96号（改題18号）

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

ピクシブ カクヨム エブリスタ はてなブログ 楽天 Kobo 電子書籍ストア Facebook ページ YouTube BOOTH

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2021年5月2日発行

読書感想文『表現者クライテリオン5月号』

著 茜町春彦

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
